

令和3年10月22日

2021年度緑化優良工場等中部経済産業局長表彰の受賞者を決定しました

- 中部経済産業局では、「緑化優良工場等中部経済産業局長表彰」について、2021年度の受賞工場3件を決定しました。本表彰は、昭和58年から実施しており、昨年度までに58工場が受賞しています。
- 本表彰制度は、工場緑化を積極的に推進し、工場内外の環境の向上に顕著な功績のあった工場等を表彰することにより、工場緑化の一層の推進を図ることを目的としています。工場緑化の推進は、工場と周辺環境の良好な関係を築くことで、工場と地域環境、社会との調和を促進するとともに、工場敷地内の環境改善にもつなげるものです。

1. 中部経済産業局長賞 受賞工場（3工場）（詳細は別紙参照）

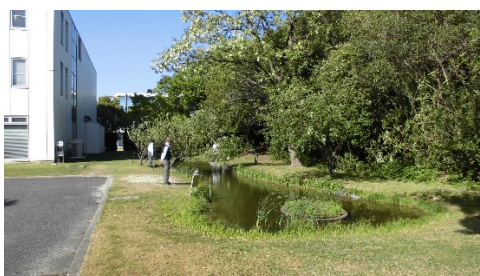
- 河村電器産業株式会社 本地工場（法人番号 8180001078754）
（所在地）愛知県瀬戸市山の田町155番地



- 株式会社デンソー 安城製作所（法人番号 9180301014251）
（所在地）愛知県安城市里町長根2-1



- トヨタ自動車株式会社 衣浦工場（法人番号 118031018771）
（所在地）愛知県碧南市玉津浦町10-1



2. 参考（全国の受賞工場等）

- ・ 経済産業大臣賞 2 工場
- ・ 経済産業局長賞 11 工場
- ・ 一般社団法人日本緑化センター会長賞 8 工場
- ・ 一般社団法人日本緑化センター会長奨励賞 2 工場

URL: <https://www.meti.go.jp/press/2021/10/20211022003/20211022003.html> [経済産業省サイト]

（お問合せ先）

中部経済産業局 地域経済部 地域経済課 地域振興室 大橋

担当：山森

電話：052-951-2716（直通）

受賞工場の功績概要

河村電器産業株式会社 本地工場（愛知県瀬戸市）

操業開始年月：1973 年 6 月

主たる業種：電気機械器具製造業

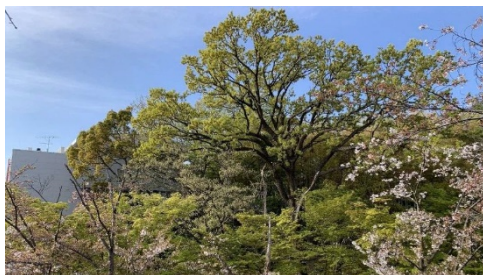
受賞歴：令和元年度一般社団法人日本緑化
センター会長賞



四季を感じられるあずまや

- 「公園のような工場」をコンセプトとし、既存の豊かな自然を生かしつつ、従業員がリフレッシュできる環境づくりとして、緑地の改善及び質の向上に継続して取り組んでいる。今年度からは「桜で覆われた工場」を目指し、2030 年までにサクラを 90 本植樹する計画の下、植樹を開始するなど積極的な緑地づくりを行っている。
- 創業以前から自生するクヌギを工場のランドマークとして保護し、その周辺に散策路を整備するとともに、工場敷地内の水神池を囲むサルスベリやサクラ、カエデ並木の紅葉や花見を楽しむことができるあずまやを設置するなど従業員が四季折々の自然を感じられる工夫を行っている。また、従業員有志がホタルの育成を目指して造成したビオトープでは、地域の在来生物に適した生息環境を整備している。
- サクラが満開となる時期に地域住民を招いた桜祭りを開催し、地域との交流を図っている。また、市内の小学校の社会見学時に工場敷地内の自然を紹介する場を設ける他、運営するサッカークラブの中学生を対象にした自然体験イベントを開催し、自然への関心を高める取り組みを行っている。
さらに、蛇ヶ洞川の清掃活動を継続して実施するなど地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

推定樹齢100年を超えるクヌギ



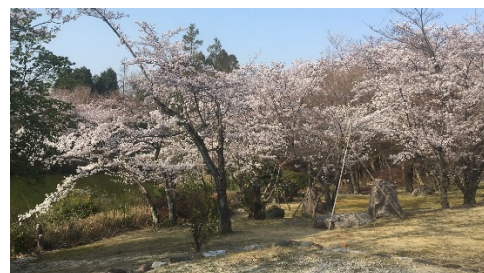
ホタルが飛び交うビオトープ



敷地内の池を囲む並木



工場敷地内の満開のサクラ



株式会社デンソー 安城製作所（愛知県安城市）

操業開始年月：1967 年 8 月

主たる業種：輸送用機械器具製造業

受賞歴：平成 29 年度一般社団法人日本緑化
センター会長賞



工場外周のサクラ並木

- 「デンソーエコビジョン 2025」における「グリーン 2 倍」の環境方針を継承した「環境への関心を高める緑地づくり」に取り組み、社員・顧客・地域の視点からコンセプトを設定し、緑地の改善及び質の向上に取り組んでいる。工場内には従業員がくつろぎ癒される空間として花木を植栽したパークを設置している。
- 地域住民から親しまれる工場外周の総延長約 1,700mにおよぶサクラ並木について、古木には専門的な管理手法による延命化、若木には土壌改良による健全化を図るなど維持管理を強化している。また、シンボルツリーであるケヤキと新たに植栽したシバザクラにより、外部からも目を引く工夫を行っている。
- 工場敷地のフェンスを後退させることにより地域開放緑地とした「ふれあいの里」では、四季折々の花を楽しめる配植やせせらぎの聞こえる水辺、芝生広場を整備し、地域住民の憩いの場となっている。また、この緑地を利用したプランターへの植栽体験など、環境への関心を高める地域交流のイベントを開催し、地域との融和を図っている。

さらに、隣接する小学校の通学路である市道が狭い箇所では、工場敷地内に遊歩道を整備して地域に開放している。また、工場付近を流れる猿渡川で、隣接する町内と共に清掃活動を継続して実施するなど地域貢献活動に積極的に取り組んでいる。

シンボルツリーのケヤキとシバザクラ



地域開放緑地の「ふれあいの里」



開放感のある工場内のパーク



小学校の通学路になっている遊歩道

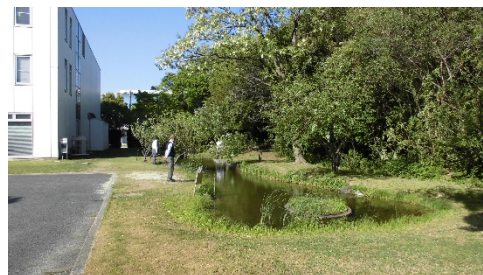


トヨタ自動車株式会社 衣浦工場（愛知県碧南市）

操業開始年月：1978 年 8 月

主たる業種：輸送用機械器具製造業

受賞歴：平成 29 年度一般社団法人日本緑化
センター会長賞



誰でも自然と触れ合えるビオトープ

- 「トヨタ環境チャレンジ 2050」における「人と自然が共生する未来づくりへのチャレンジ」として、緑に囲まれ自然と調和する「自然と共生する工場」を目指し、海岸埋立地で緑地造成が困難である中、地域本来の生態系をできる限り蘇生するべく「工場の森づくり」等の活動を推進し、緑地の改善及び質の向上に取り組んでいる。「工場の森づくり」では、従業員が地域の在来種の苗木を専門的な手法を用いて植樹し、生育状況を適切に管理している。
- 工場の海側一帯に整備したクロマツ林の松くい虫被害対策のため、維持管理を強化するとともに、周辺環境との緩衝緑地として新たに芝生を整備している。また、生態系を定量的に評価するための指標種を従業員自らが継続的にモニタリングを実施し、絶滅危惧種である野鳥の「コアジサシ」の営巣環境を周辺のグループ会社と協調して整備するなど生態系の保全活動に積極的に取り組んでいる。
- 工場敷地内にビオトープを造成し常時地域に開放することで、生態系の保全だけでなく、従業員の環境への意識向上や地域との交流を図っている。また、市内の小学校 2 年生の校外学習として自然学習会を開催する他、市の「クリーンピーと綺麗な街づくり活動」に賛同し、定期的に工場周辺の清掃活動を実施するなど地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

工場西側を囲うクロマツ林



営巣場で雛を育てるコアジサシ



生育が進む約5,000本の植樹した木々



生物採集や観察を行う自然学習会

